

株式会社トーモク

2021年3月期 決算説明資料

2021年5月



東証・札証

3946

1. 2021年3月期決算
 2. 2022年3月期決算見通し
 3. 成長戦略の取り組みと中計最終年度に向けて
 4. ESG・SDGsへの取り組み
- ご参考資料（会社概要など）



「包む」をイノベーションする。

2021年3月期決算



TOMOKU

微減収・営業増益。**売上高175,647百万円（前期比△0.5%）、営業利益7,230百万円（同+4.6%）**

売上高……コロナ禍による経済活動停滞の影響を受けたが、微減収に留まる。
段ボール事業・運輸倉庫事業は減収。住宅事業は増収。

営業利益……段ボール事業の生産コスト低下で増益。

段ボール**売上高（前期比△2.7%）、営業利益（同+3.5%）**

コロナ禍の経済活動の停滞により、生産量は若干減少したが、増益。

住宅**売上高（同+8.4%）、営業利益（同+23.9%）**

販売棟数が増加、堅調に推移し、増収増益。

運輸倉庫**売上高（同△4.0%）、営業利益（同△4.8%）**

コロナ禍による生産・消費活動の停滞で取扱数量が減少し、減収減益。

営業利益7,230百万円（+4.6%）、営業利益率4.1%（前期3.9%）達成。

（百万円）

	2020年3月期	構成比 (%)	2021年3月期	構成比 (%)	前期比 (%)	修正計画 2020/10/26 公表	修正計画比
売上高	176,583	100.0	175,647	100.0	△0.5	177,000	△1,353
売上原価	146,726	83.1	145,164	82.6	△1.1	-	-
売上総利益	29,856	16.9	30,483	17.4	+2.1	-	-
販売費及び 一般管理費	22,944	13.0	23,252	13.2	+1.3	-	-
営業利益	6,911	3.9	7,230	4.1	+4.6	7,100	+130
経常利益	7,107	4.0	7,734	4.4	+8.8	7,400	+334
親会社株主 帰属純利益	4,562	2.6	4,887	2.8	+7.1	4,600	+287

下期の原価率低下（82.3%→81.6%）が営業利益率改善（5.6%→6.0%）に寄与。

（百万円）

	2020年3月期				2021年3月期			
	上期	構成比 (%)	下期	構成比 (%)	上期	構成比 (%)	下期	構成比 (%)
売上高	83,332	100.0	93,251	100.0	79,232	100.0	96,415	100.0
売上原価	70,006	84.0	76,720	82.3	66,478	83.9	78,686	81.6
売上総利益	13,325	16.0	16,531	17.7	12,754	16.1	17,729	18.4
販売費及び一般管理費	11,661	14.0	11,283	12.1	11,304	14.3	11,948	12.4
営業利益	1,663	2.0	5,248	5.6	1,450	1.8	5,780	6.0
経常利益	1,735	2.1	5,372	5.8	1,595	2.0	6,139	6.4
親会社株主帰属純利益	975	1.2	3,587	3.8	980	1.2	3,907	4.1

販売棟数増加で堅調な住宅事業が、コロナ禍での運輸倉庫事業の停滞をカバー。

(百万円)

		2020年3月期	2021年3月期	前期比
段ボール	売上高	99,839	97,101	△2.7%
	セグメント利益 (利益率)	5,693 (5.7%)	5,890 (6.1%)	+3.5%
住宅	売上高	39,435	42,734	+8.4%
	セグメント利益 (利益率)	621 (1.6%)	770 (1.8%)	+23.9%
運輸倉庫	売上高	37,308	35,810	△4.0%
	セグメント利益 (利益率)	1,464 (3.9%)	1,394 (3.9%)	△4.8%
合計	売上高	176,583	175,647	△0.5%

* セグメント利益は、調整前

下期は、前年より収益性が改善。

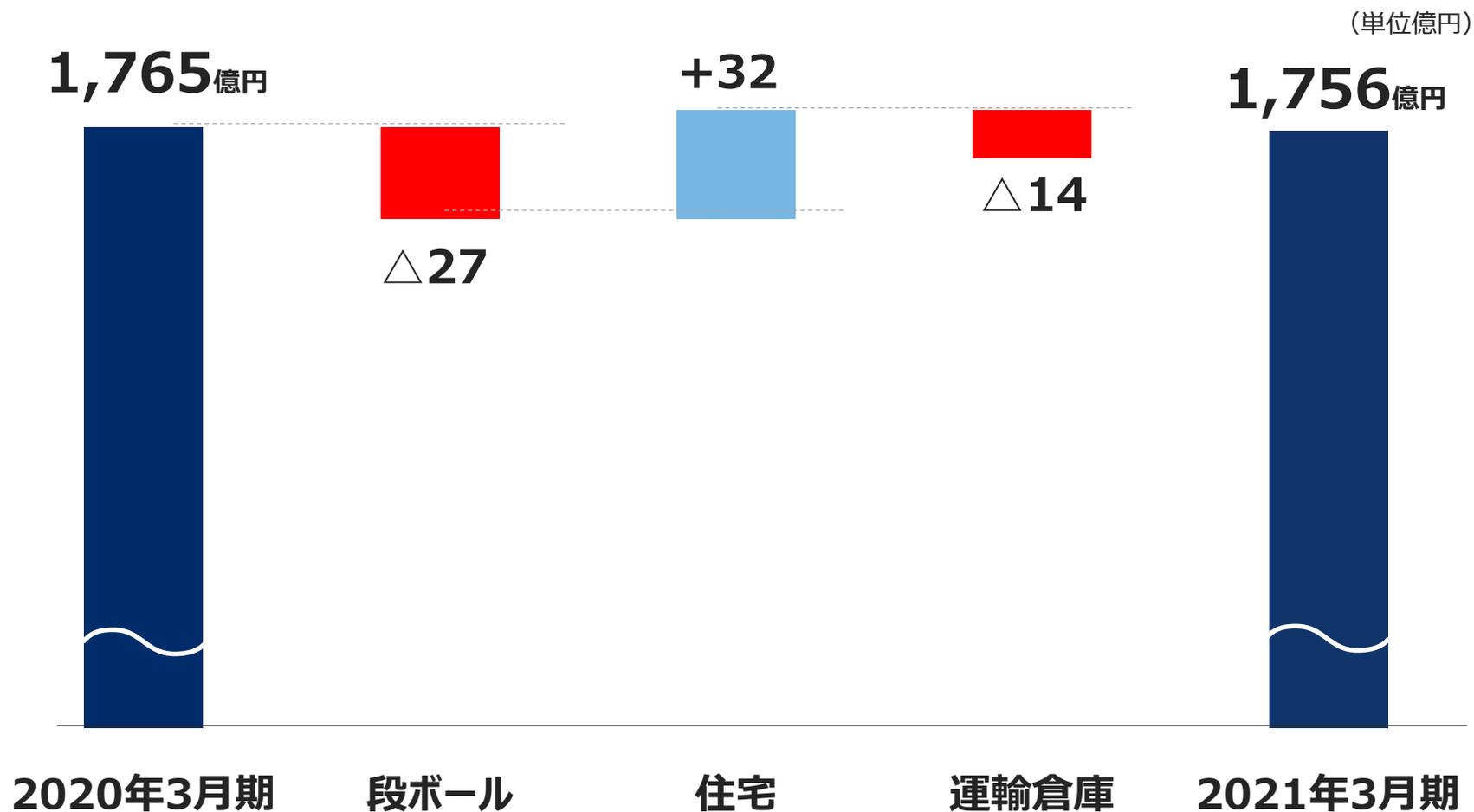
堅調な住宅事業を中心に、段ボール事業や運輸倉庫事業も全て前年同期比増益。

（百万円）

		2020年3月期				2021年3月期		
		1・2Q	構成比 (%)	3・4Q	構成比 (%)	3・4Q	構成比 (%)	前年 同期比
段ボール	売上高	50,492	60.6	49,347	52.9	49,112	50.9	△0.5%
	セグメント利益 (利益率)	2,801 (5.5%)	-	2,892 (5.9%)	-	3,015 (6.1%)	-	+4.2%
住宅	売上高	12,770	15.3	26,665	28.6	30,788	31.9	+15.5%
	セグメント利益 (利益率)	△1,835 (-)	-	2,456 (9.2%)	-	2,768 (9.0%)	-	+12.7%
運輸倉庫	売上高	20,068	24.1	17,240	18.5	16,514	17.1	△4.2%
	セグメント利益 (利益率)	1,083 (5.4%)	-	381 (2.2%)	-	440 (2.7%)	-	+15.5%
合計	売上高	83,332	100.0	93,251	100.0	96,415	100.0	+3.4%

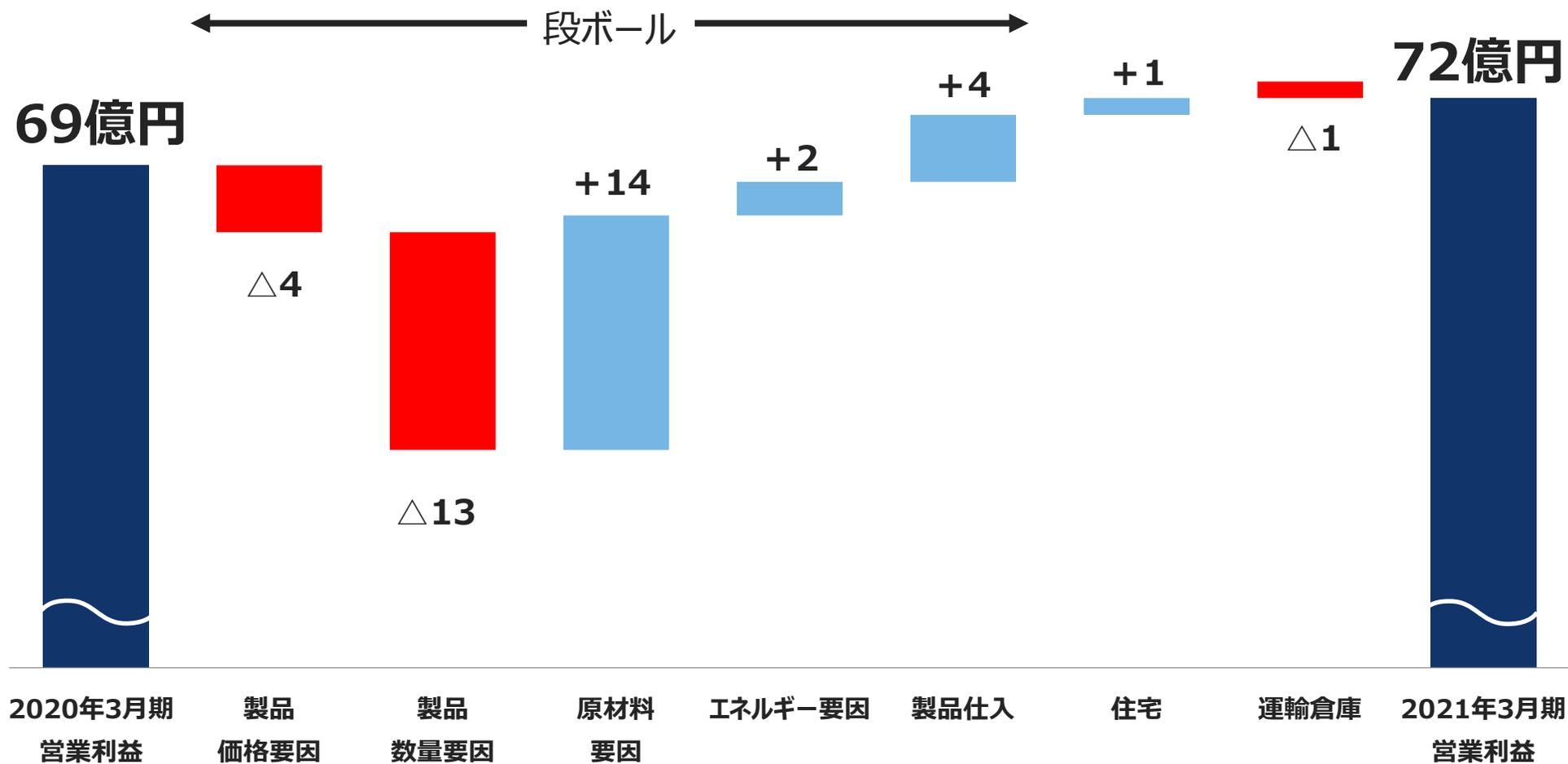
段ボール事業と運輸倉庫事業：コロナ禍の経済停滞でマイナスの影響あり。

住宅事業：Web販売強化と規格商品の販売戦略ミックスが、若年齢化する住宅取得層に好評。



段ボール事業が増益に寄与：需要（生産量）は減少したが生産コストが低下。

（単位億円）



総資産は2割強増加。期中の戸建住宅分譲会社の子会社化（BSのみ連結）で販売用不動産が増加。段ボール生産設備も増強。

(百万円)

資産の部	2021年3月期末	前期増減
流動資産	78,291	+19,781
現預金	14,046	+3,487
受取手形・売掛金	29,452	△72
販売用不動産	18,128	+14,845
固定資産	101,451	+13,316
有形固定資産	83,463	+9,796
投資その他の資産	17,022	+2,797
資産合計	179,743	+33,097

負債の部	2021年3月期末	前期増減
流動負債	59,118	+19,874
支払手形・買掛金	20,098	+432
短期借入金	12,126	+8,450
一年以内の長期借入金	7,516	+2,859
固定負債	49,410	+6,881
長期借入金	38,893	+8,314
純資産	71,214	+6,342
(内自己株式)	(4,313)	(△7)
負債・純資産合計	179,743	+33,097

営業キャッシュ・フローは純利益増で増加。

積極的な投資活動（戸建住宅分譲会社の子会社化と生産設備増強）には、借入金を活用。（百万円）

	2020年3月期	2021年3月期	増減	備考
現金・同等物 期初残高	10,045	10,325	+ 280	
営業活動 C F	10,873	11,074	+ 201	
投資活動 C F	△10,524	△13,447	△2,923	有形固定資産取得△9,748 戸建住宅分譲会社買収 △3,594
フリー C F	349	△2,373	△2,722	
財務活動 C F	△123	5,831	+ 5,954	短期借入金+5,279 長期借入金+1,469
現金・同等物 期末残高	10,325	13,813	+ 3,488	



「包む」をイノベーションする。

2022年3月期決算見通し



TOMOKU

感染拡大の影響は軽微だが、運輸倉庫事業が、飲料需要の低迷（観光・イベントの回復遅れ等）の影響を受ける。ニューノーマルへ向けて主力の段ボール事業に加えて、住宅事業は買収効果もあり事業規模拡大へ。

	2021年3月期 (実績)	2022年3月期 (見通し)
段ボール	<p>(国内) 需要は堅調、 巣ごもり需要を確実に捕捉</p> <p>(海外) 工場は順調に稼働、増設工事も進捗</p>	<p>(国内) 段ボール需要の回復 ・コロナワクチン普及による需要改善</p> <p>(海外) 国内同様需要は堅調に回復へ</p>
住宅	<ul style="list-style-type: none"> ・住宅展示場来場者数は減少。販売チャネルのWEB化を進め、規格型商品を中心に販売好調で業績は堅調。 ・2021年3月愛知県で戸建住宅の分譲事業を行う「玉善」を買収 	<ul style="list-style-type: none"> ・VRウォークスルー等WEB戦略を更に強化し魅力を発信、需要を捕捉。 ・注文住宅、建売住宅共に好調な需要を捉え事業拡大。 ・スウェーデンハウスと玉善のシナジー創出に取り組み。
運輸倉庫	<ul style="list-style-type: none"> ・巣ごもりで自販機やコンビニの販売減少により運搬・保管やイベント需要が停滞 	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍は継続すると思われるが、飲料業界の回復が見込まれ、事業基盤の安定化を推進 ・子会社を通じて運輸会社を買収予定

1. 戸建住宅分譲事業会社「玉善」を子会社化（2021年3月1日付）＊

＊名古屋の不動産事業会社「玉善」から戸建住宅分譲事業を会社分割により承継

魅力の高い愛知県市場で建売住宅需要を捕捉。注文住宅・建売住宅で顧客支持の高い商品企画力・ノウハウを融合し事業展開力を強化。

2021年3月期～：期末貸借対照表に反映
2022年3月期～：連結損益計算書に反映

従業員： 89名
売上規模：約180億円

2. 運送事業会社「宝樹」グループの「宝樹運輸」等を子会社化（2021年7月1日付予定）＊

＊グループ運送事業子会社トーンを通じて子会社化

運輸倉庫事業の事業領域拡大へ、車両や人材など経営資源を強化
宅配関連輸送に強い運送事業会社を系列下に置くことで、地域拡大と取扱品目増加を狙う

2022年3月期業績予想に未反映

従業員： 230名
車両台数： 295台
売上高： 約44億円（2020年3月期）

売上高2,100億円（+19.6%）。営業利益90億円（+24.5%）、営業利益率4.3%。

（百万円）

	2021年3月期 （実績）	構成比 （%）	2022年3月期 （計画）	構成比 （%）	前期比 （%）
売上高	175,647	100.0	210,000	100.0	+19.6
営業利益	7,230	4.1	9,000	4.3	+24.5
経常利益	7,734	4.4	9,200	4.4	+18.9
親会社株主帰属 純利益	4,887	2.8	6,000	2.9	+22.8

上期・下期ともに、1,000億円台の売上高と前年同期比増収増益を見込む。
 上期での大幅な収益改善を見込む。

(百万円)

	2021年3月期（実績）				2022年3月期（計画）			
	1Q・2Q	構成比 (%)	3Q・4Q	構成比 (%)	1Q・2Q	構成比 (%)	3Q・4Q	構成比 (%)
売上高	79,232 (△4.9%)	100.0	96,415 (+3.4%)	100.0	100,000 (+26.2%)	100.0	110,000 (+14.1%)	100.0
営業利益	1,450 (△12.8%)	1.8	5,780 (+10.1%)	6.0	2,800 (+93.1%)	2.8	6,200 (+7.3%)	5.6
経常利益	1,595 (△8.1%)	2.0	6,139 (+14.3%)	6.4	2,900 (+81.7%)	2.9	6,300 (+2.6%)	5.7
親会社株主 帰属純利益	980 (+0.5%)	1.2	3,907 (+8.9%)	4.1	1,700 (+73.4%)	1.7	4,300 (+10.1%)	3.9

段ボール事業：需要・生産量復調で、売上高1,000億円へ。収益性は維持。
住宅事業：「玉善」子会社化効果と好調なスウェーデンハウスで増収を見込む。
運輸倉庫事業：期中の運輸会社M & A効果とコロナ禍収束で、規模拡大へ。

(百万円)

		2021年3月期 (実績)	2022年3月期 (計画)	前期比
段ボール	売上高	97,101	100,000	+3.0%
	セグメント利益 (利益率)	5,890 (6.1%)	6,100 (6.1%)	+3.6%
住宅	売上高	42,734	71,000	+66.1%
	セグメント利益 (利益率)	770 (1.8%)	2,000 (2.8%)	+159.7%
運輸倉庫	売上高	35,810	39,000	+8.9%
	セグメント利益 (利益率)	1,394 (3.9%)	1,700 (4.4%)	+22.0%
合計	売上高	175,647	210,000	+19.6%

段ボール事業：増収基調続く。住宅事業：販売好調で上期収益は大幅に改善。
運輸倉庫事業：需要回復で、増収増益を見込む。

(百万円)

		2021年3月期 1Q・2Q (実績)	2021年3月期 3Q・4Q (実績)	2022年3月期 1Q・2Q (計画)	前年 同期比	2022年3月期 3Q・4Q (計画)	前年 同期比
段ボール	売上高	47,989	49,112	49,000	+2.1%	51,000	+3.8%
	セグメント利益 (利益率)	2,875 (6.0%)	3,015 (6.1%)	2,900 (5.9%)	+0.9%	3,200 (6.3%)	+6.1%
住宅	売上高	11,946	30,788	30,000	+151.1%	41,000	+33.2%
	セグメント利益 (利益率)	△1,998 (-)	2,768 (9.0%)	△800 (-)	-	2,800 (6.8%)	+1.2%
運輸倉庫	売上高	19,296	16,514	21,000	+8.8%	18,000	+9.0%
	セグメント利益 (利益率)	954 (4.9%)	440 (2.7%)	1,100 (5.2%)	+15.3%	600 (3.3%)	+36.4%
合計	売上高	79,232	96,415	100,000	+26.2%	110,000	+14.1%

方針：「中長期成長投資」のための内部留保と株主還元のバランス。

今期は企業価値向上に合わせて株主還元を積極化

2022年3月期（計画）：年52円（+7円）：中間25円（+5円）、期末27円（+2円）

* 2021年3月期（予定）：年45円（中間20円+期末25円）

(円)

	2017/3	2018/3	2019/3	2020/3	2021/3 (予定)	2022/3 (計画)
中間	15	15	20	20	20	25
期末	20	20	20	25	25	27
記念			10			
合計	35	35	50	45	45	52

+7円



「包む」をイノベーションする。

成長戦略の取り組みと中計最終年度に向けて



TOMOKU

互いに収益を補強・補完し、「収益を平準化」させる「唯一無二のビジネスモデル」

主力事業 = 「段ボール」加工専門トップメーカー

段ボール (55.3%)

M & Aで運輸倉庫と住宅の事業基盤が再強化へ

運輸倉庫 (20.4%)

事業の派生・効率化
+ 顧客基盤を固める手段

段ボールの
運搬機会(帰路)
を利用したビジネス



住宅 (24.3%)

収益の平準化
+ 収益基盤の強化

段ボール事業と
年間収益の
動きが異なるビジネス



()は2021年3月期売上高構成比

段ボールの安定成長と、堅調かつM & Aで強化した住宅事業の拡大で、さらなる成長へ。

段ボール

事業環境： 生活必需品の加工食品中心のため、コロナ禍でも需要は旺盛

戦略： 物搬に不可欠な代替の利かない今後も有望な素材
高品質・高生産性を武器に、需要増を確実にカバー

住宅

事業環境： コロナ禍で、新設住宅着工戸数が回復するまでには時間を要する

戦略： スウェーデンハウスの高ブランド注文住宅事業に
「玉善」の戸建住宅分譲事業を加え、事業拡大・融合

運輸倉庫

事業環境： コロナ禍で、物流の見通しが不透明

戦略： 法人需要困り込みへ、顧客と協働で物流センターを建設

**段ボール：代替物が少なく、リサイクルで省資源性が高く、堅実な成長が見込まれる生活インフラ素材。
 コロナ禍では、巣ごもり需要をECや日用品運搬などで捕捉、環境意識の高まりもあり堅調な需要続く。**

当社の主力は加工食品分野

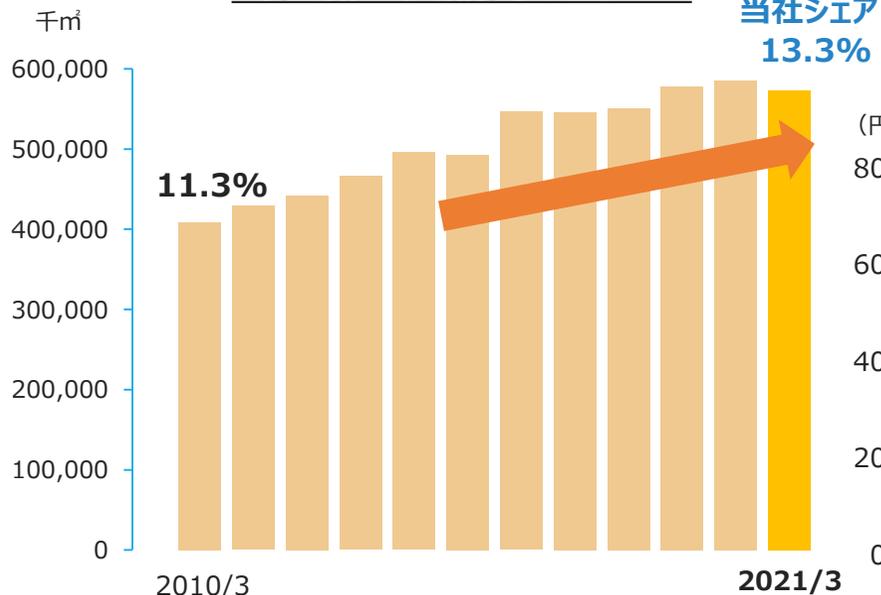
コロナ禍（ニューノーマル）でも
 着実な需要。

安定した市況動向

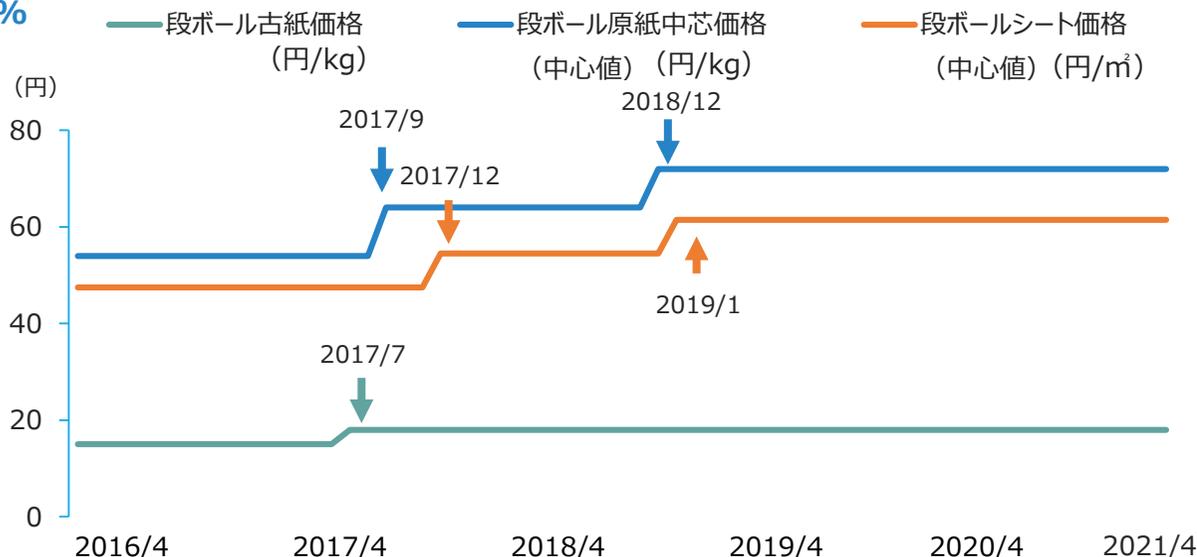
段ボール原紙・製品（シート）価格とも横ばい。
 堅調な需要を背景に、原紙価格を踏まえた
 製品価格が形成されている状況。

生産量・全国シェアは増加傾向

当社加工食品向け生産量



段ボール価格推移表

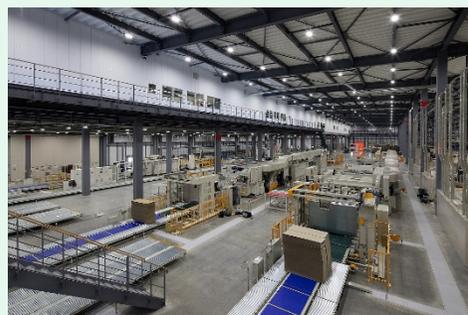


(出典：日本経済新聞、古紙再生促進センター)

子会社トーシンパッケージ新本社工場（2021年1月～・埼玉県加須市）投資額：90億円
 北関東の弊社工場を補完する役割として新設（東北自動車道加須ICに近接）

最大消費地首都圏への供給体制が強化、
 最新鋭設備で段ボール事業拡大へ

最大消費地の関東（全国の44%*）に
 主力工場が立地



トーシンパッケージ加須工場



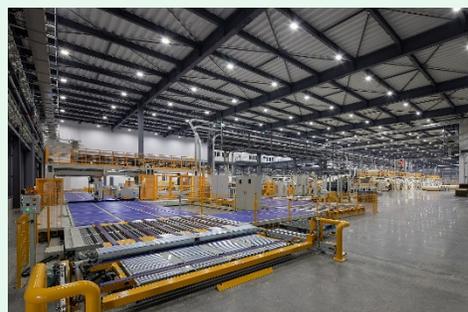
+



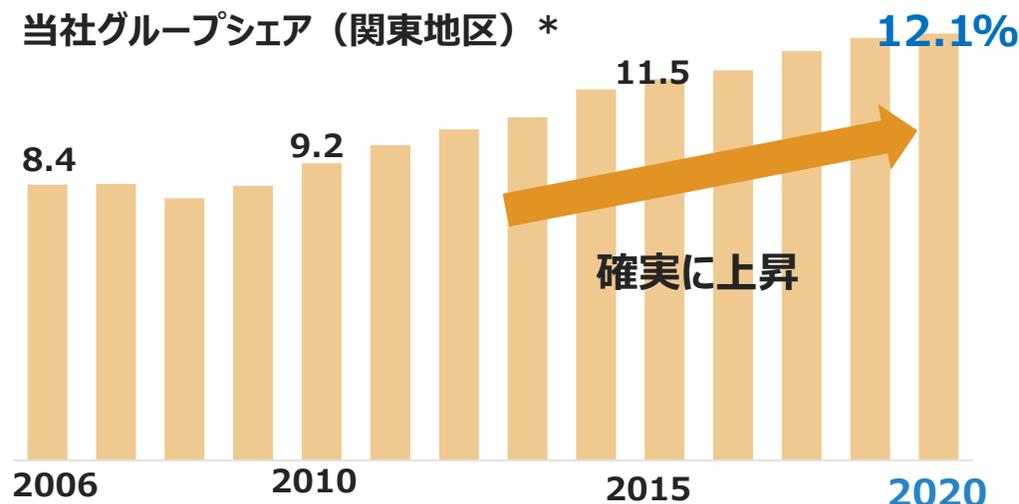
館林工場



岩槻工場



当社グループシェア（関東地区）*



* 生産量ベース：全国段ボール工業組合連合会+当社調べ

コロナ禍だが、当社海外事業は、日本基準の高品質段ボールの現地生産でプレゼンス拡大中

米国・カリフォルニア

段ボール市場世界第2位の有望市場

きめ細やかな日本流カスタマイズと
迅速なデリバリー



ベトナム

日本スタンダードを投入

日本基準の品質が評価され、
増産・増収傾向が軌道に



+

コロナ禍で米国・ベトナムの生産拡大計画は、
1年程度遅れる見込み

生産拡大計画

米国 21年10月 完成予定 : 19年3月期比 2.0倍
ベトナム 21年11月 完成予定 : 19年3月期比 1.5倍

収益貢献度は想定通り上昇傾向

当社段ボール事業（2021年3月期）
海外売上高構成比率 : 10.7%
海外営業利益構成比率 : 17.8%

注文住宅・建売住宅で顧客支持の高い商品企画力・ノウハウを融合し事業展開力を強化

スウェーデンハウス（注文住宅）

2015～2021年 オリコン顧客満足度調査 ハウスメーカー 注文住宅 第1位



売上高（当社住宅事業）710億円

- 高気密・高断熱・長寿命の高性能住宅
- スウェーデンの住発想・デザインの輸入注文住宅
- 木質壁パネルを接合・一体化したモノボックス®構造



玉善（建売住宅）

2021年 オリコン顧客満足度調査 建売住宅ビルダー 東海 第1位



戸建住宅分譲売上規模 約180億円

- 長期優良住宅認定の建売住宅
- 好立地・好環境の土地情報・仕入れに強み
- 全国第2位の戸建市場である愛知県で歴史・知名度・安定したシェア



（期待される効果） 事業展開力強化による規模拡大・収益力強化

商品拡充（注文住宅＋建売住宅）



幅広い住宅取得ニーズに対応

異なる商品・ビジネスモデルの融合



品質の向上・提案力の向上

玉善のグループ会社化



財務基盤の強化・信用力の向上

「スウェーデンハウスの戸建住宅分譲販売への活用」などクロスセル効果なども検討へ

VRモデルハウス・ウォークスルー新規開設（2021年4月スタート）

ニューノーマルの「視点」で、「WEB活用」営業をさらに充実、
VRモデルハウスへの来客数の増加、受注棟数の増加を狙う

専用サイト



専用アプリ

3Dウォークスルーモデルサイト



間取りシミュレーション

あなたにとって
最高の間取りが見つかります

200坪以上のプラン
最新のプランの中から
あなたに合ったプランを
お選びいただけます

エリアごとの間取り
各開発現場の1/2坪は
その地域に合ったプランを
お選びいただけます



オンライン相談会

オンラインで
ご注文が楽におられます！

VRで間取りを確認しながら
お話を聞けるので、お話を聞くのが
楽な相談会です。また、VRで
お話を聞けるので、お話を聞くのが
楽な相談会です。また、VRで
お話を聞けるので、お話を聞くのが
楽な相談会です。



トウン群馬センター（2021年4月オープン・群馬県明和町）

顧客（清涼飲料水・ビールメーカーなど）と協働で、飲料専門の物流センターを開設

⇒ 飲料メーカーとの関係強化から運輸倉庫事業の取扱量増加（ビジネス強化）に直結



投資額：55億円

敷地面積：67,000m²

建築面積：38,000m²



事業強化策として
今後も協働物流センターの開設
は検討へ

**売上高目標2000億円は達成予定。収益性改善は道半ば。
コロナ禍で事業環境と前提条件が変わり、M&Aにより、住宅事業の比重高まる。**

中計当初計画値と最終年度（2022年3月期）予想との差異

	2019年3月期 実績（ご参考）	中期経営計画 （2019年5月発表）	2022年3月期計画 （2021年5月発表）	差異
売上高	1,715億円	2,000億円	2,100億円	+100億円
段ボール	925億円	1,100億円	1,000億円	▲100億円
住宅	414億円	450億円	710億円	+260億円
運輸倉庫	375億円	450億円	390億円	▲60億円
営業利益率*	3.0%	5.8%	4.3%	▲1.5%
段ボール	3.5%	7%	6.1%	▲0.9%
住宅	2.6%	4%	2.8%	▲1.2%
運輸倉庫	4.4%	5%	4.4%	▲0.6%
ROE	7.5%	10%	7.2% (2021年3月期実績)	—

*セグメント営業利益率は、セグメント調整前の数字

**コロナ禍という想定外の事業環境の変化があったが
最終年度も、売上目標数値達成と収益性改善へ、事業の取り組みを強化。**

「包む」をイノベーションする。

ESG・SDGsへの取り組み



TOMOKU

経営理念

環境や社会に優しく、ビジネスと暮らしを包み、安全にお届けする

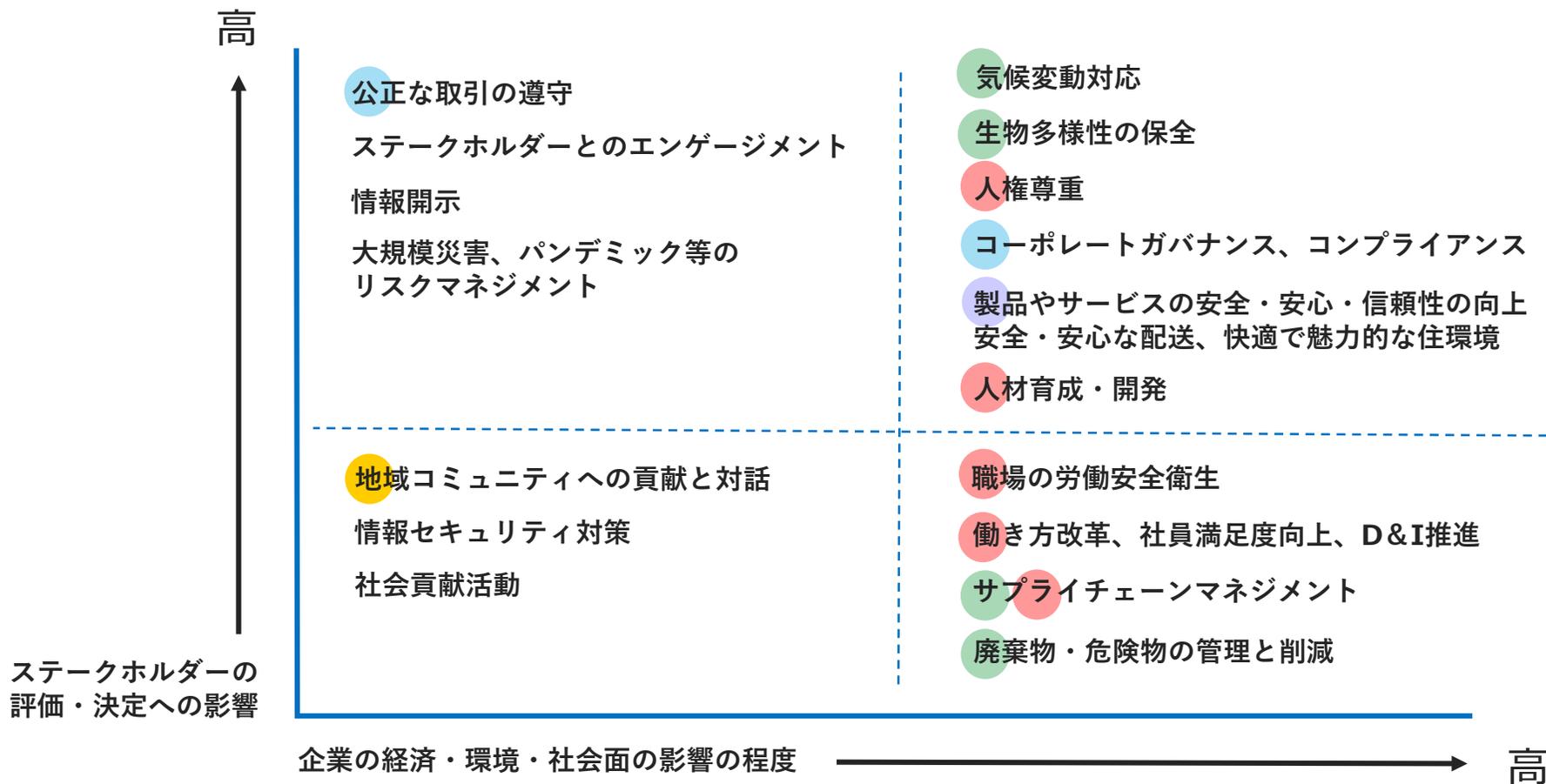
CSR方針（抜粋）

トモクグループ経営理念とグループ行動基準に基づき、ステークホルダーの期待と要請に応えるとともに、社会的課題を認識し、事業活動を通じて持続可能な社会の実現と地球環境保全に貢献します。

持続可能な発展に向けた活動	SDGsに賛同し、その達成に貢献します。マテリアリティを定め、2030年までの長期目標を設定し、進捗状況や課題の報告とともに改善活動を進めてまいります。	
環境	循環経済の更なる貢献、廃棄物の減量化とリサイクル化、資源やエネルギーの省力化と再生可能エネルギーの活用、生物多様性の保全など地球環境の保全活動に取り組みます。	
社会	公正な事業慣行	関連法令の遵守、公正な取引、企業不祥事の未然防止に努め、倫理的な会社を目指します。
	人権	人権を尊重し、強制労働やハラスメント等を認めません。国籍、性別（ジェンダー）、信条等による差別や嫌がらせを禁止し、すべてのステークホルダーの基本的な人権を尊重します。
	労働慣行	多様性やWLBを尊重し、社員が働きがいを実現でき、災害ゼロの職場に取り組みます。
	消費者課題	法令遵守、基盤技術の深耕と研究開発に取り組み、顧客満足度の向上を目指します。
	コミュニティ参画	社会及びコミュニティ発展貢献活動を通じて地域社会との共存共栄を図ります。
組織構造	透明性、公正性が高く、迅速で効率の良い経営が実現できるよう体制や組織、システムを整備していきます。コンプライアンスを企業活動の基本と捉え、すべてのステークホルダーに対する責任を果たしていくことで企業価値の永続的な増大を目指します。	

マテリアリティを基準にした優先SDGs報告事項のマッピング

● 地球環境保全 ● ガバナンス強化 ● 多様な人材の活躍と人権尊重 ● 製品やサービスの安全・安心 ● 地域コミュニティの発展



マテリアリティに基づき2030年目標を策定

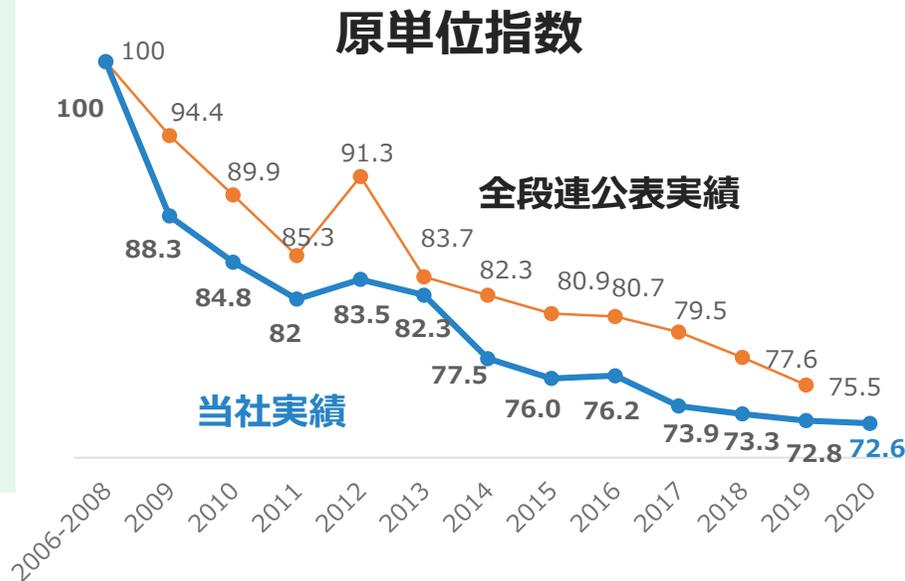
気候変動対応 2030年目標

1. 温室効果ガス（GHG）△30%（2013年比）

更なる削減率積上を検討

2. スウェーデンハウス
居住時のエネルギー消費量 △50%（省エネ基準比）

当社は業界平均を上回るCO2原単位を削減



温室効果ガス（GHG）削減 取組状況

<ul style="list-style-type: none"> ● 再生可能電力の導入 	2021年3月期：子会社トーシンパッケージ新工場導入済 2022年3月期：トーモク5工場導入計画
<ul style="list-style-type: none"> ● ボイラー燃料の重油 ⇒ ガス化 ● LED・バッテリーリフト・無人リフト 	8工場ガス化済、2021年3月期 清水工場実施済、2022年3月期1工場で計画 2021年4月以降 順次更新
<ul style="list-style-type: none"> ● スウェーデンハウス 居住時のエネルギー消費量 ● HUS ECO ZERO×ずっともソーラー 	2020年3月期△35%（6地域試算）⇒ 2021年3月期△37%（全着工物件の平均） 2020年9月8日より提供開始



ご参考資料（会社概要など）



段ボール事業、住宅事業、運輸倉庫事業

会社名	株式会社トモク 英文社名 TOMOKU CO.,LTD.
事業内容	段ボール、住宅、運輸倉庫など
所在地	〒100-0005 東京都千代田区丸の内2-2-2 丸の内三井ビル
設立	1949年5月27日 缶詰用木箱のメーカーとして北海道に設立。その後段ボール事業に転換、全国に事業拡大
代表取締役	代表取締役会長 斎藤英男 代表取締役社長 中橋光男
資本金	136億6,900万円（2021年3月末現在）
業績	売上高 175,647百万円 営業利益 7,230 百万円（2021年3月期）
従業員数	1,099名（単体） 3,613名（連結）（2021年3月末現在（臨時従業員を除く））
証券コード 上場市場	3946／東証一部、札証
主要工場	17カ所 館林、岩槻、厚木、札幌、神戸、小牧など
連結子会社	18社 国内15社（住宅事業：スウェーデンハウス、玉善など 運輸倉庫事業：トウン、トウンロジテムなど） 海外 3社（段ボール事業：米国・ロサンゼルス、ベトナム・ホーチミン 住宅事業：スウェーデン）

ミッション (使命)

お客様の大切な商品を包み、消費者の皆様にとっての価値を包み、
人々の豊かな暮らしを包み、大切なものを包んで届ける。

ビジョン (あるべき姿)

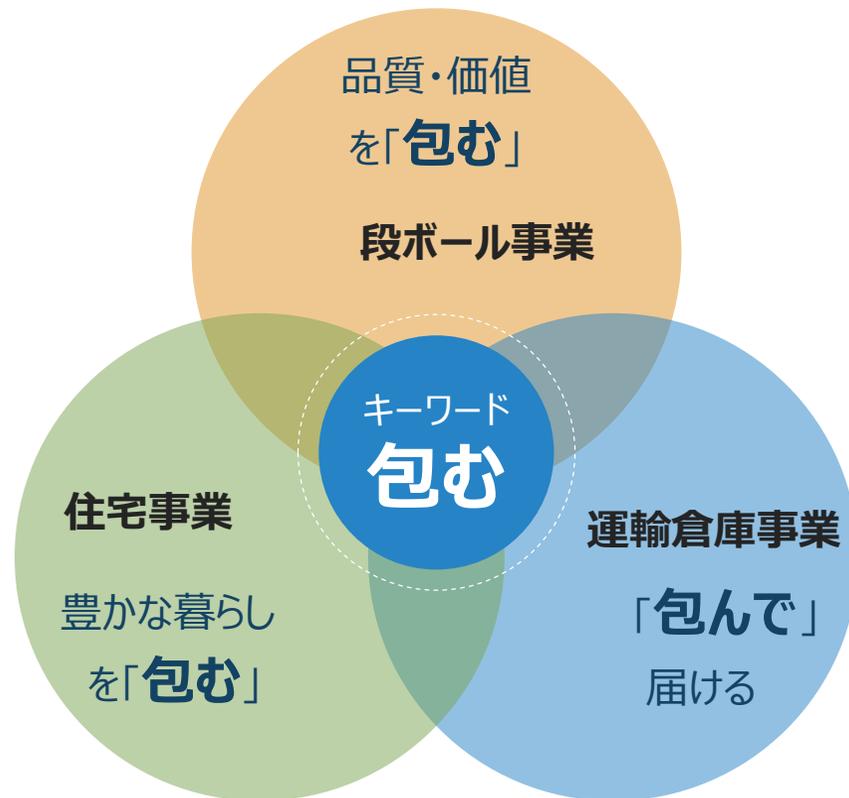
- 3つの事業で「包む」を基本コンセプトに経営資源の高度化をはかり高品質経営を展開する
- 高い倫理観と強い責任感を持って事業活動を通じて、社会の持続的発展に貢献する
- 新たな事業の構築に取り組み企業価値の更なる向上を目指す

長期経営目標

売上高 3,000億円以上

ROE 12%以上

日常を包む ⇒ 社会の持続的成長



「段ボール」生産・加工専門で生産量1位、全体で3位。

BOXメーカーとは違い、貼合設備を保有し、最適なメーカーから最適なタイミングで原紙調達

国内段ボール業界

段ボール生産・加工

原紙を使い生産・加工

全国に200社以上*

最適生産者から
最適タイミングで原紙調達

製紙一貫メーカー

(原紙工場あり)
(製紙メーカー含む)

① A社	30%
② B社	23%
③ D社	5%

段ボール専門メーカー

(原紙工場なし)

①当社グループ	9%**
② C社	4%
③ E社	3%

段ボール加工

シートの加工を行うのみ
多品種・小ロット加工

BOXメーカー

全国に約2000社*

+

零細業者多く、事業承継も
発生し、業界再編の中心

*全国段ボール工業組合連合会調べ
**シート生産量シェアは当社調べ
(2020年度)

当社の祖業。1984年に注文住宅市場に本格参入、高品質で差別化、「ブランド」確立。

精緻な段ボールの加工技術を応用・発展



事業理念：資産価値の持続する家づくり
品質の差別化：北欧クオリティの「居心地の良さ」



木造住宅でありながら、
面で支える独自の高強度「モノボックス®」構造で
高耐久性・堅牢性・耐震性とレイアウト可変性を実現

クオリティの高さ

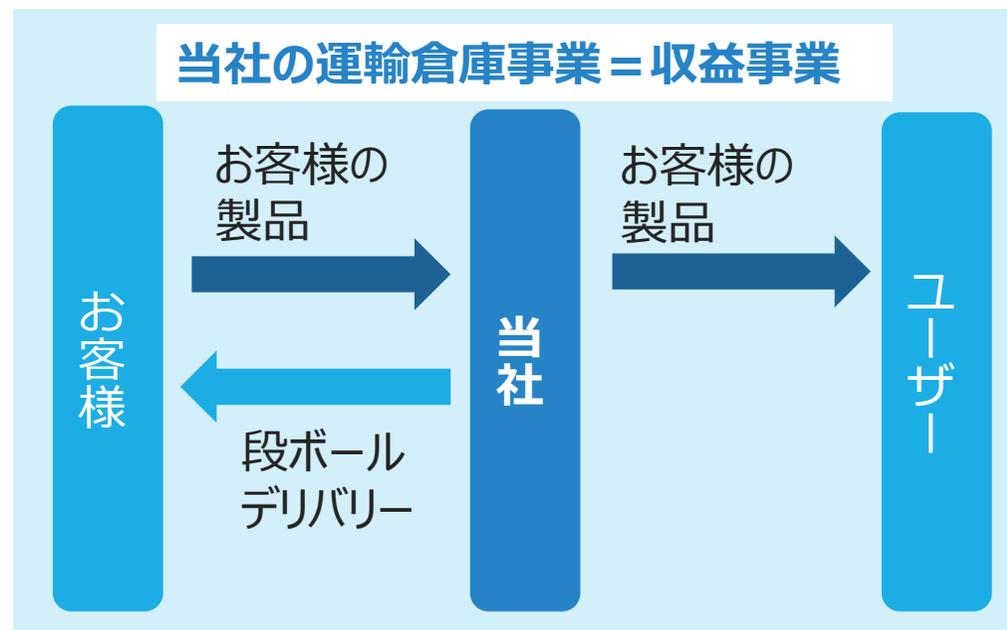


高気密
壁・床の継ぎ目にも、
厳重な気密施工

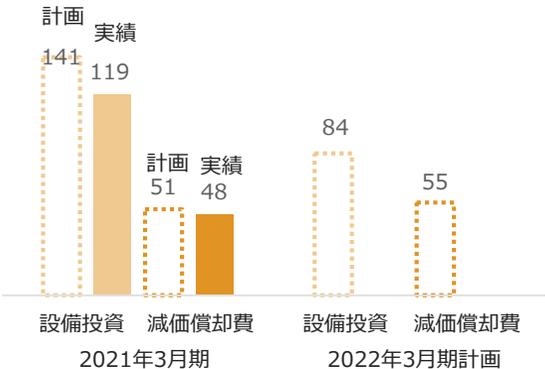
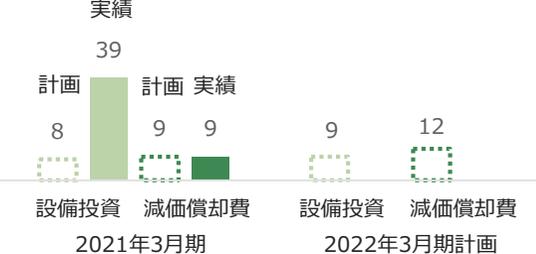
高断熱
魔法瓶のように
高性能な断熱構造

計画換気
24時間熱交換型
換気システムを採用

段ボール顧客の製品輸送・保管を収益化。 段ボール事業の収益補完・強化に寄与。



総額700億円枠の投資で企業価値向上へ。段ボール事業生産能力増強投資中心に実施。

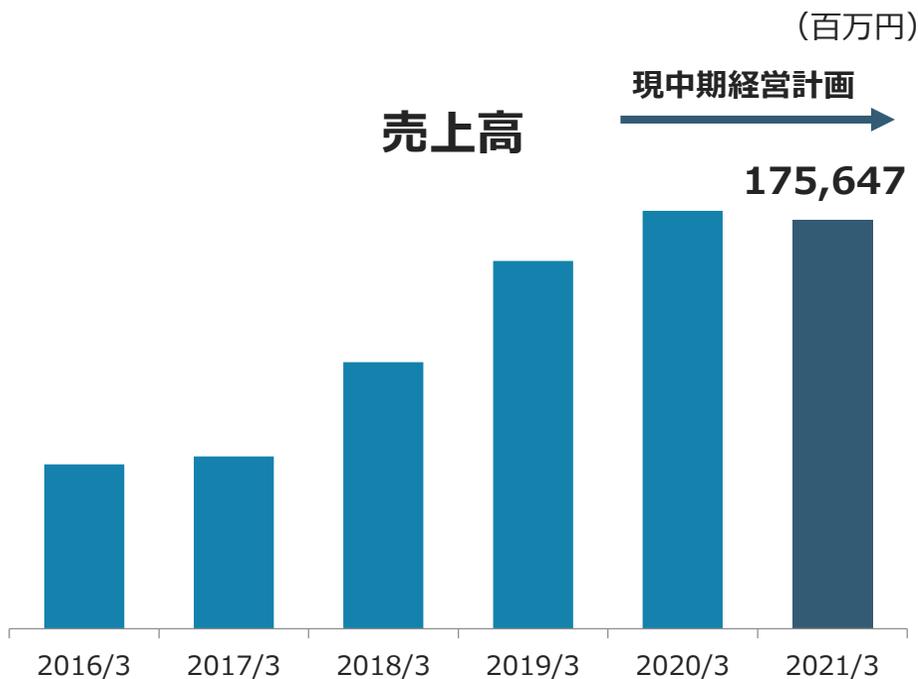
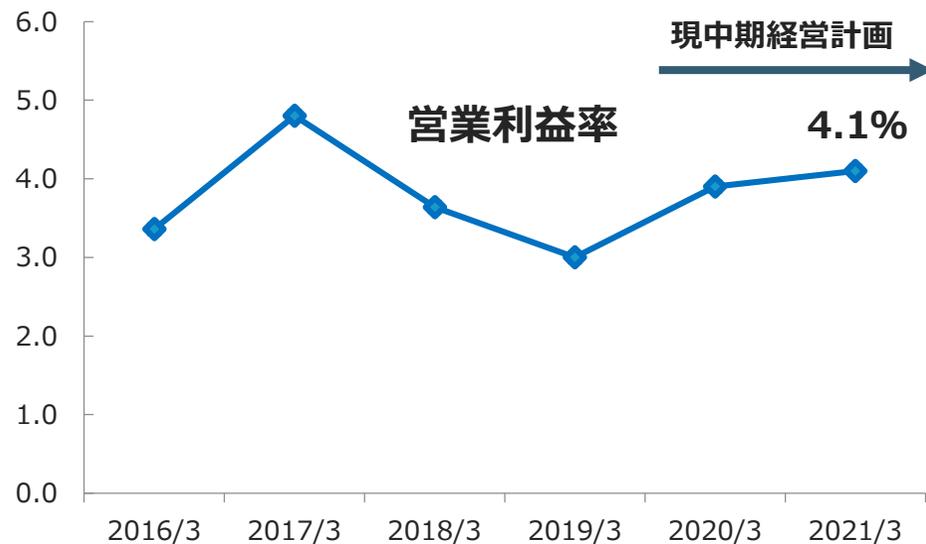
	段ボール	住宅	運輸倉庫																																				
投資枠	500億円 (海外工場含む)	100億円	100億円																																				
対象領域	<ul style="list-style-type: none"> 生産拠点の拡充・強化 (新技術導入・M & A) 	<ul style="list-style-type: none"> 部材内製化 製造合理化 M & A 	<ul style="list-style-type: none"> システム投資 物流拠点の拡張 M & A 																																				
内容	<ul style="list-style-type: none"> 生産能力強化 最新鋭設備導入 フォークリフト無人化 ロボット導入 ライン増設 工場用地取得 工場建物新設 	<ul style="list-style-type: none"> モデルハウス建築 	<ul style="list-style-type: none"> 物流拠点の新設 倉庫新設 車両増車 車両入替 																																				
投資状況	 <table border="1"> <caption>段ボール事業投資状況</caption> <thead> <tr> <th>期間</th> <th>設備投資</th> <th>減価償却費</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2021年3月期</td> <td>141 (計画)</td> <td>51 (計画)</td> </tr> <tr> <td>2021年3月期</td> <td>119 (実績)</td> <td>48 (実績)</td> </tr> <tr> <td>2022年3月期計画</td> <td>84 (計画)</td> <td>55 (計画)</td> </tr> </tbody> </table>	期間	設備投資	減価償却費	2021年3月期	141 (計画)	51 (計画)	2021年3月期	119 (実績)	48 (実績)	2022年3月期計画	84 (計画)	55 (計画)	 <table border="1"> <caption>住宅事業投資状況</caption> <thead> <tr> <th>期間</th> <th>設備投資</th> <th>減価償却費</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2021年3月期</td> <td>1 (計画)</td> <td>2 (計画)</td> </tr> <tr> <td>2021年3月期</td> <td>42 (実績)</td> <td>4 (実績)</td> </tr> <tr> <td>2022年3月期計画</td> <td>2 (計画)</td> <td>2 (計画)</td> </tr> </tbody> </table>	期間	設備投資	減価償却費	2021年3月期	1 (計画)	2 (計画)	2021年3月期	42 (実績)	4 (実績)	2022年3月期計画	2 (計画)	2 (計画)	 <table border="1"> <caption>運輸倉庫事業投資状況</caption> <thead> <tr> <th>期間</th> <th>設備投資</th> <th>減価償却費</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2021年3月期</td> <td>8 (計画)</td> <td>9 (計画)</td> </tr> <tr> <td>2021年3月期</td> <td>39 (実績)</td> <td>9 (実績)</td> </tr> <tr> <td>2022年3月期計画</td> <td>9 (計画)</td> <td>12 (計画)</td> </tr> </tbody> </table>	期間	設備投資	減価償却費	2021年3月期	8 (計画)	9 (計画)	2021年3月期	39 (実績)	9 (実績)	2022年3月期計画	9 (計画)	12 (計画)
期間	設備投資	減価償却費																																					
2021年3月期	141 (計画)	51 (計画)																																					
2021年3月期	119 (実績)	48 (実績)																																					
2022年3月期計画	84 (計画)	55 (計画)																																					
期間	設備投資	減価償却費																																					
2021年3月期	1 (計画)	2 (計画)																																					
2021年3月期	42 (実績)	4 (実績)																																					
2022年3月期計画	2 (計画)	2 (計画)																																					
期間	設備投資	減価償却費																																					
2021年3月期	8 (計画)	9 (計画)																																					
2021年3月期	39 (実績)	9 (実績)																																					
2022年3月期計画	9 (計画)	12 (計画)																																					

安定成長を続ける当社

3事業のバランスある成長と収益平準化が寄与

主力の段ボール事業を基盤に、成長が継続。
 営業キャッシュ・フローも安定的に創出かつ増加傾向。
 住宅事業も収益力を補強。収益性も改善。

営業キャッシュ・フロー



免責事項

本資料は、当社の事業及び業界動向について当社による現在の予定、推定、見込み又は予想に基づいた将来の展望についても言及しています。

これらの将来の展望に関する表明は、様々なリスクや不確かさが伴っています。既に知られた、もしくははまだ知られていないリスク、不確かさその他の要因が、将来の展望に対する表明に含まれる事柄と異なる結果を引き起こさないとも限りません。当社は、将来の展望に対する表明、予想が正しいと約束することはできず、結果は将来の展望と著しく異なることもありえます。

本資料における将来の展望に関する表明は、2021年5月現在において利用可能な情報に基づいて、当社により2021年5月現在においてなされたものであり、将来の出来事や状況を反映して将来の展望に関するいかなる表明の記載をも更新し、変更するものではありません。

株式会社トーモク

東証一部：証券コード 3946

連絡先

mail:3946ir@tomoku.co.jp